

わがまち温泉考

香芝市長 先山昭夫

湧きいでる、わが故郷に

人はなぜ温泉に魅かれるのか

日本人は古くから温泉と付き合ってきました。「古事記」には因幡の白兔のけがを水で治療したという記述があり、このことが古代の人々の水に対する信仰を物語っています。

また「出雲国風土記」(いずもものくにぶ)どきには「出湯の地に男女老幼が日々集まって楽しみ、一度浴びれば形容が整い二度浴びれば万病が治るとし、国造が朝廷に賀詔を奏上にいくとき湯浴みすると記す」と、玉造温泉についての記載があります。同書は他の三カ所の温泉も挙げていて、多くの温泉が古くから美容や治療などに利用されていたものと思われるます。

温泉は人間の持つ生命力を活性化し、

自然治癒力を高めると言われます。温泉に入ると心身ともにリラックスでき、ゆったりとした時間の中に身を置くことで自分自身を取り戻すこともできます。知らない人同士でも、一緒に温泉に入るとすぐに親しくなるのも温泉の魅力の一つでしょう。

わが温泉体験

かくいう私も温泉にまつわるさまざまな思い出があります。

三十代のころ、職場が違う友人数名である温泉に行ったときの話ですが、彼らと一緒に何度も温泉に入り、共に酒を酌み交わして夜遅くまで将来のことや自分の考え方などを本心で語り合いました。今では、彼らは一生付き合える友人になっています。



露天風呂から二上山を望めば、ここはスツカリ旅気分



市民と温泉談義中の市長(かしば・屯鶴峯温泉にて)

「かしば・屯鶴峯温泉」(香芝市総合福祉センター内)
所在地/香芝市逢坂1-37-1
交通/近鉄大阪線・JR和歌山線下田駅下車(公共バス運行)
施設/大浴場・露天風呂・ジャグジー・サウナなど
特別浴室(介護を必要とする方がご家族と利用できます)
泉質/単純泉
泉温/30℃
効能/神経痛・リュウマチ症・運動器障害・動脈硬化・疲労回復など
利用時間/午前11時~午後8時(受付は午後7時30分まで)
休館日/木曜日・祝日・年末年始
入浴料/市内在住者は大人500円、小学生300円ほか
問合せ先/香芝市総合福祉センター TEL:0745-79-7520

利用者の声から

体と心で感じる快い温もり

小雪がちらつく冬の夜道を自転車で帰路につく途中、「やはり温泉だったんだ」という思いが実感として湧いてきました。身体の温かさは家に帰ってから消えることなく、快い温もりの余韻をしばし楽しんでいます。

幼いころ、祖父によく銭湯に連れていってもらったことを今でも鮮明に覚えています。お風呂そのものだけでなく、一緒に入っている人たちの何とも言いえない親近感というか、不思議なつながりを感じたものでした。思えば、そんな銭湯が周りから姿を消してしまいました。

最近、屯鶴峯温泉をよく利用します。

サウナルームでは、みんな一緒に安堵しているように見えました。汗を流すと、それと一緒にいろいろな疲れが抜けていくようです。そんな穏やかな表情が私を幸福にさせてくれます。しばらく気がだるい疲れを楽しみ、露天風呂に行きました。闇の空に、二上山のシルエットがぼんやり浮かぶ。最高の演出です。もう気分は温泉旅行といったところです。

風呂から上がり、ロビーの様子を眺めているとみんな楽しそうです。別に話をするわけでもないのに、温かい時間と空間をみんなで共有した気分で、妙に楽しくなりました。それは幼いころの銭湯の記憶に近いような気がします。

かしば・屯鶴峯温泉で温泉気分を堪能してください

また、当時の上司に大切なお願いごとを依頼するときも温泉が舞台となりました。面と向かってはなかなか切り出せなかったのですが、温泉につかりながらリラックスした雰囲気の中に身を置くことで、思っていた以上にスムーズに言葉が出て、快く引き受けていただくことができました。

体の力を抜いてお湯の中に浮かぶ力づいてるのは、母親の胎内にいるときと同じ状態だと言われます。温泉に入ると何か懐かしくて、昔を思い出さうなことがしばしばありますが、これは精神的に安定しているときに体がポカポカとあたたまってくると、人は誰でも昔を慈しむ心が湧いてくるからでしょうか。

かしば・屯鶴峯温泉では、まさにそんな温泉の効能を存分に味わえます。単純泉で源泉温度は三十度、神経痛やリュウマチの治療に適しています。入浴された方からは、体があたたまることも筋肉がほぐれ、筋肉痛などの疲労回復やリハビリの効果がさらにアップするなど好評をいただいております。継続的に利用される方もたくさんおられ、湯あたりも少なく長期療養に適した温泉と語られています。

市民の皆さん方に身近に利用いただけるかしば・屯鶴峯温泉が体を癒し、人々が集い、心と心のふれあい・世代間の交流を深める拠点として未永く親しまれ、温かい社会づくりの一翼を担うのではないかと期待しています。